## 岐阜新聞「素描」掲載 第8回 平成24年10月23日

間。備後長引表という素かれた150帖の畳空 中に漂う独特な雰囲気に ある黄金色。落ち着きの 材だけが持つ光沢と気品 院があります。整然と敷 造りと一体化し、殺伐と い素朴さが禅堂の厳かな 素材七島藺の持つ飾らな て堂内に入りました。そ ます。3年前に私は初め 堂の奥には、厳しい座禅 修行を行う大徹堂があり 雲水の修行道場です。本 龍寺。臨済宗妙心寺派の岐阜市寺町にある瑞 こに敷かれた20帖の縁な 瑞龍寺の塔頭に鶴棲た空気さえ感じます。



## 幻の畳

## 岐阜県畳組合理事長 石河恒夫

手織機で織られた寺岡さ城で織られた畳表です。 配中継ぎ表が使われて特別文子さん手織りの四 が使われていますが、機 の間」の畳にも中継ぎ表 います。京都迎賓館「桐 見て驚くということはま 向き合っているので畳を て育ちました。毎日畳に と言われているのです。 が、重要無形文化財の故 先代が納入したものです た4帖の畳は約20年前に があります。席に敷かれ 宗匠お好みの席「白鶴亭 奥には松尾流12代妙玄斎 は息をのみます。本堂の んの中継ぎ表は「幻の畳」 私は幼い頃から畳を見 りました。二度とできな 作業中感極まるものがあ 1枚の中継ぎ表を前に、 備わる素晴らしさを痛感 こに敷かれた畳を見たと い貴重な仕事でした。 当店の先代。今は亡き名 さん、そして畳を作った す。藺草生産者の廣川宏に保管してあったので た中継ぎ表の予備が当店 偶然にも20年前に納入し 依頼があったのですが、 帖の内1帖の表替えのご し、感銘を受けました。 き、本来畳という素材に ずありません。 工たちの想いが詰まった 志氏、織り手の寺岡文子 今春、住職から席の4 。しかし